

チーム医療推進会議関連

第20回チーム医療推進会議が10月29日に開催された。「チーム医療推進方策検討ワーキンググループにおける検討結果」「特定行為に係る看護師の研修制度に係る検討状況」について各WGでの取りまとめが示された。11月の医療部会に報告される予定。

薬剤師・臨床放射線技師・臨床検査技師の業務拡大については全員が賛同した。本会の大久保副会長は「今後の業務拡大の議論では、現場の実態把握と安全の担保が重要」と発言した。

特定行為に係る指定研修については「更なる検討が必要」とする医師会の意見が繰り返されたが、他の全委員が「十分議論を尽くした」と合意した。研修の基本理念、到達目標と教育内容案が提示されたことから、大久保副会長は「安全に行うための指定研修の研修内容が示された」と述べた。また「看護師は特定行為のみを行うのではなく、修得した能力を一連の看護業務に生かしていくことが求められている」と発言した。